

一般質問

松山議員

その他の質問
まちづくりについて
総合環境について
教育環境について
勝山市の防災関係について
勝山市防災士ネットワークについて

まちづくりについて
○まちづくり会社について

Q 質問
観光振興とまちづくりを一体的にとらえた事業展開を、一つ上のステージで戦略的に展開して取り組む「まちづくり会社」を設立すべき。

A 答弁
勝山市では平成23年に策定された観光振興ビジョンの4つの戦略に沿って、まちなかに残る文化資源や新たな観光資源を活用した周遊策および今後の勝山市の観光の産業化を担う組織の構築が必要と考えている。こうした役割を担うための組織として、国が進める地方創生によるヒト、モノ、カネの還流による勝山市の活性化を目指し、(仮称)「観光まちづくり会社」の設立についての研究を進めている。

教育環境について
○ESD「持続可能な開発のための教育」について

Q 質問
勝山市独自の持続可能な環境教育システムの構築と浸透を目指してきた、ESD教育「持続可能な開発のための教育」を今後どのように進めていくのか。

A 答弁
勝山市では小・中学校が連携してESDを展開している

ので、その流れを勝山高校にもつないでいけるよう、4月に教育委員会から高校側に申し入れた。勝山高校は今年度、県の「授業改善重点実施校」に指定されており、その授業改善の柱のひとつに「ESDの推進」を掲げた。
今後、勝山高校におけるESDが充実するに伴い、小・中・高のスムーズなESDの接続、連携が実現するであろうと期待している。

「勝山市の防災関係」について
○勝山市自主防災組織補助金制度について

Q 質問
勝山市自主防災組織補助金が今年度末で効力を失うが、今後防災対策が行える自主防災組織の育成、結成が必要であり、勝山市自主防災組織補助金制度の継続をすべき。

A 答弁
今後、新たな自主防災組織の設立を呼びかけるとともに、積極的・継続的に活動を行っている団体を対象とした表彰制度なども創設し、各組織が情報交換できる機会をつくるなど、新しい制度による、補助金制度を継続していきたいと考えている。



北川議員

我がまちの「地方総合戦略」策定の方向性について

Q 質問
地方総合戦略は、地域活性化と人口減少克服のため、政府が自治体に今年度中の策定を求めている。勝山市において「勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定させたが、地方版総合戦略策定の方向性について所見を伺う。

A 答弁
勝山市では、去る5月18日に産官学に加え金融、労働、報道機関の各分野から意見を頂く場として、「勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」を立ち上げ、第1回目の会議を開催し、それぞれの専門分野から様々な意見を頂いた。

Q 質問
「食とスポーツ」「食と健康」「食と学力」など、テーマを明確にして、先進的な食育の取り組みを行うモデル校を「スーパー食育スクール」として指定した事業を平成26年度から文部科学省が行っている。福井国体を平成30年度に控え、勝山市でもスポーツへの関心が高まっている中、「スポーツする子どもたちに対する食育」をすすめる「スーパー食育スクール」に取り組む考えはないか伺う。

スーパー食育スクールへの取り組みについて

Q 質問
「食とスポーツ」「食と健康」「食と学力」など、テーマを明確にして、先進的な食育の取り組みを行うモデル校を「スーパー食育スクール」として指定した事業を平成26年度から文部科学省が行っている。福井国体を平成30年度に控え、勝山市でもスポーツへの関心が高まっている中、「スポーツする子どもたちに対する食育」をすすめる「スーパー食育スクール」に取り組む考えはないか伺う。

A 答弁
今後、勝山市の学校給食の献立に「アスリートメニュー」を取り入れていくことや、各小中学校で開催される給食試食会で「成長期のスポーツと食事の深い関わり」を指導する場面を設定したり、各小中学校での食育関連事業を通して、「成長期の食事」「スポーツ活動と食事」について、指導に取り組むことを検討していく。

さらに、今年度、三室小学校では、ESD(持続可能な開発のための教育)の中に「食育」を位置づけて取り組むこととしており、この成果をESD担当者連絡協議会で報告し、各小中学校で共有していく。
このような状況の中で、今のところ、勝山市としては、「スーパー食育スクール」の指定申請を行う予定はないが、実践校の情報を参考にしながら、現在の勝山市の取り組みを充実させていきたい。

